

平成27年

目黒区教育委員会

第37回定例会会議録

(平成27年10月13日開催)

第37回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成27年10月13日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	小村 恵子
	教育委員会委員長職務代理者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	目黒区教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	佐伯 英徳
	教職員・教育活動課長	濱下 正樹
	めぐろ学校サポートセンター長	増田 武
	統括指導主事	細田 真司
	統括指導主事	和田 孝
	生涯学習課長	金元 伸太郎
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		鈴木 敏由起
		山東 隆博

(午前9時30分開会)

○委員長 第37回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は木村委員です。

それでは、日程第1を議題とします。

この案件は、人事案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第13条第1項ただし書きの規定に基づき、秘密会で審議することを発議します。

それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに直ちに可否を諮ります。秘密会とすることに賛成の委員の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○委員長 それでは、日程第1については、秘密会で審議することといたします。この報告の関係者以外は退席をお願いいたします。

(関係者以外退席)

(午前9時31分、秘密会入る)

(午前9時34分、秘密会終わる)

○委員長 ここからは会議を公開とします。退席した関係者もお入りください。

(関係者入場)

○委員長 次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成27年第3回区議会定例会中の決算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁(要旨)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 この件についてご質問等ございますか。

○委員 図書館の現在の開館時間は、どのようになっていますか。

○説明員 現在の開館時間等は、平成23年度以前に戻しておりまして、平日は八雲中央図書館が午前9時から午後9時まで、中目黒駅前図書館は午前10時から午後9時45分まで、それ以外が午前9時から午後7時までです。日曜祝日につきましては、中目黒駅前図書館を除き午前9時から午後5時まで、中目黒駅前図書館は午前10時から午後6時までの開館となっております。休館日については、八雲中央図書館と大橋図書館が第一月曜を除きまして毎日開館で、そのほかの館につきましては、毎週月曜の休館となっております。

○委員長 ほかにご質問等ございますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。  
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 平成28年度区立幼稚園及びこども園の園児募集について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 この件についてご質問等ございますか。

○委員 確認ですが、ここに書いてあるのはあくまで募集人員ですね。ここ数年間の応募状況で、どのくらい倍率に変化があったのか、それから、括弧の中の定員は変化があったのでしょうか。

○説明員 まず、今のご質疑で後段の定員については、こども園が開園した以降、定員等の変更はございませんので、現段階でこの定員で募集をしてきたところでございます。

応募状況につきましては、短時間保育は昨年が3.02倍ほど、一昨年が3.4倍ほどの結果になってございます。おおむね3倍ということで推移してございます。

中・長時間保育については、一昨年までは教育委員会側で独自に募集し、抽選を行っていたので一定の結果はありますが、今年度は制度が変わり、抽選ではなく保育課で保育園と含めてその利用調整に関する規定をもとに保育を必要な資格を判断しながら入園を決定していく制度に改まりましたので、この部分の推移等は特段お示しするものではないという考え方でございます。

○委員 倍率が3倍あるということは、やはりかなり狭き門と思います。それが少なくとも減っていったら2倍ぐらいになるような施策というのは何か予定されているのですか。

○説明員           ご指摘の点につきましては、もともと5園あった区立幼稚園を現段階でこども園も含めて3園に改めてきた経緯がございます。当時5園あったときには、幼稚園のみでございましたが欠員状態のあるような園が常態化していた経緯、さらにさかのぼれば、目黒区の考え方としては区立幼稚園については私立幼稚園を補完する立ち位置として整備を進めてきた経緯もありますので、現段階では、ご指摘の点については、私立幼稚園が主であるといった考え方のもとで進めておりますので、区立でこの倍率について結果を見ながら推移はご説明していますが、施設整備等の観点から何か対応するという考えはございません。改めて区立、私立ともに幼児教育を振興していく中で、これは情報交換を密にしながら、今は中・長時間保育の推移も見ながら円滑な園運営に向けて取り組んでいくといった考え方でございます。

○委員            その私立幼稚園と公立幼稚園とでかかる費用の差というのはあるのでしょうか。同じなのでしょうか。

○説明員           私立幼稚園については補助等もございますが、実際のところで申しますと、それぞれ保育料等の勘案をして年間で平均額で比較したところ、おおむね年40万円ほどの差がございます。

○委員            私立のほうが40万円高いということなのですか。

○説明員           はい、保護者負担のさまざま平均額の差で申しますと、ご指摘のとおりでございます。

○委員            できれば、やはり子どもをたくさんこの目黒区に呼びたい、そして小学校の入学者も増やしたいという思いもあるかと思うので、ぜひ負担の少ない公立が多いのが望ましいと個人的には思います。

○委員長           ほかにご質問ございますか。

                  特にないようですので、この報告を受けました。

                  次に、日程第4を議題とします。

(日程第4        学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

○説明員           (資料により説明)

○委員長           この件についてご質問等ございますか。

                  特にないようですので、この報告を受けました。

                  次に、日程第5を議題とします。

(日程第5 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員 一番最初の教育指導課の第6回日仏ロボットデザイン大賞ですが、先ほどの話で第5回も後援事業だったということですが、子どもたちに対する周知というのはどのように行っているのでしょうか。このような一般的な後援や共催事業は「めぐろ区報」では広報されていると思いますけれども、なかなか子どもたちが直接区報を読むということはないような気がします。ただ、学校でこういう事業があるから興味がある人は応募しなさいというようなアナウンスはされているのでしょうか。
- 説明員 募集の方法でございますが、小学校、中学校にチラシとポスターが協会から送られ、事業の案内をしているという状況でございます。
- 委員 健康マージャン入門講座について2点質問します。  
まず、対象者は区民の中のどのような年齢ですとか制限があるのでしょうか。  
それから、この目黒支部が本当に健康なマージャン推進の実績があるのでしょうか。
- 説明員 健康マージャン入門講座の対象者に関するお尋ねでございますが、区内在住、在勤の方で入門者の方から初級者の方までということで広く呼びかけておりまして、特に対象を絞っているということではありません。また、年齢制限もございません。  
それから、これまでの実績ですが、2年ほど前にも後援をしてございます。また、この健康マージャンは、健康づくりや仲間づくりの一助として実施いたします。マージャンというどうしても賭け事という悪いイメージがありますが、こうした趣旨に基づき、公共施設で健全にマージャンを行うということで、後援しているところでございます。
- 委員長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。  
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時21分閉会)